

令和6年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター、岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	【文化センター】岐阜市金町5丁目7番地2 【市民会館】岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	340,292,491 円		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	【文化センター】催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2 【市民会館】ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

文化センター		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数(単位:人)		35,344	49,900	42,418	40,388	61,593
各室稼働状況(%)	催し広場	0.0 %	25.4 %	52.1 %	28.6 %	51.6 %
	小劇場	38.7 %	45.6 %	0.0 %	36.7 %	56.3 %
	練習室	36.4 %	41.9 %	33.9 %	30.6 %	44.4 %
	展示室	36.1 %	35.4 %	54.6 %	42.1 %	51.8 %
	会議室	32.7 %	36.0 %	43.0 %	36.3 %	42.2 %
	音楽関係室	30.1 %	29.3 %	31.4 %	25.7 %	20.2 %
	美術工芸室	24.0 %	18.2 %	24.1 %	17.7 %	21.1 %
	和室	20.3 %	15.4 %	20.7 %	15.1 %	23.3 %

市民会館		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数(単位:人)		70,036	34,435	53,703	40,586	11,833
各室稼働状況(%)	大ホール	68.3%	45.4%	42.5%	30.3%	0.0%
	展示ギャラリー	49.7%	39.5%	45.7%	31.3%	36.4%
	会議室80	39.5%	29.5%	31.4%	23.2%	29.1%
	会議室48	49.3%	45.4%	32.7%	29.8%	36.5%
	多目的ルームA	40.1%	33.8%	27.7%	22.3%	23.2%
	多目的ルームB	47.0%	40.9%	35.1%	31.0%	23.9%
	練習スタジオ	32.1%	27.2%	28.8%	22.0%	19.8%
	和室	24.8%	21.6%	19.8%	14.2%	17.8%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守しており、適切な運用を行っている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページ、SNS、広報誌、隔月に発行する催し物案内等を活用した広報活動を実施している。 ④来館者に対しアンケートボックスを設置している。利用者に向けてアンケートを配布、実施する期間を設け、積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。

自主事業・共催事業	市民の劇場(指定事業)の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(落語)&出前講座(能楽) ③松竹大歌舞伎 ④第46回ぎふアジア映画祭 ⑤市民スタッフ事業 ⑥第36回・37回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募> ⑦ぎふ演劇ワークショップ2024(共催) ⑧岐阜市中学校美術作品展2024(共催) 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ②戯曲セミナー&リーディング発表会 ③「羊と銅の森」を歩く トーク&コンサート ④グランドピアノ演奏体験 ⑤能登復興支援チャリティーコンサート	市民の劇場(指定事業)の実施 ①【第17回ぎふジャズフェスティバル】来場者数892人 ②【子ども伝統文化体験教室・発表会(落語)】参加者数12人 発表会来場者数40人 【能楽出前講座】参加者数30人 ③【松竹大歌舞伎】来場者数 昼の部443人 夜の部323人 【わくわく歌舞伎セミナー】来場者数277人 ④来場者数1150人 ⑤【ぎふ文化センター寄席】来場者数 こどもの部123人 大人の部 321人 【チャレンジ企画】来場者数51人 ⑥【第37回募集】応募団体1団体 採択団体1団体 【第35回採択事業】ホール系会場プログラム1件 来場者数913人 【第36回採択事業】ホール系会場プログラム2件 来場者数789人 ⑦【高校生の部(アマチュア演劇講習会)】参加者数415人 【一般の部】参加者数40人 【中学生の部(中学生のための演劇教室)】来場者数289人 ⑧【文化センター街並ギャラリー展示】毎月市内中学校2校 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①【鷺山小学校出前コンサート】参加者数243人 【『野々田万照&楽市JAZZ楽団meets大前光市』】来場者数327人 【依頼演奏】さんぽde野外ライブ 岐阜県総合医療センター健康祭 ②【セミナー】参加者数28人 【リーディング発表会】来場者数101人 ③来場者数383人 ④【市民会館】3日間実施 募集24組 応募23組 参加者23組 【文化センター】3日間実施 募集24組 応募17組 参加者17組 ⑤来場者数1100人
	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤各種点検業務	①日常清掃、定期清掃を実施している。 ②巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ③受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助について計画通り実施している。 ④貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施している。 ⑤実施計画に基づき、順次実施している。
	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 【文化センター】 ・第2会議室照明器具取替修繕 ・演台等ダイノックシート貼替修繕 他 【市民会館】 ・東棟2階増設用コンセント盤修繕 ・大ホール第1楽屋女子トイレ便器取替修繕 他
	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応した。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報取扱規程を作成・運用している。「情報セキュリティポリシー」を新たに定め、情報セキュリティインシデント対応フローや情報セキュリティインシデント報告書等を整備し、全職員に周知徹底した。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、消防・防災訓練等を計画的に実施している。また、普通救命講習の受講など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営を行っている。また、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯び確認をおこなっている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	- 一定の期間、各施設利用者を対象にアンケートを実施するほか、ホール系施設(催し広場、小劇場、大ホール)利用者には通年でアンケートを実施するなど、計画的に取り組んでいます。 - 常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内に設置しています。 - 来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、「ご意見受付シート」を作成、回覧することで改善に努めています。
利用者アンケートの実施結果	【文化センター】 ・「今後も利用したい」の項目で99%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応の項目は「非常に良い」と「良い」の合計が100%の評価でした。 ・ご意見を記入する項目では「舞台スタッフの対応が予定通りで親切でした」「長年利用させていただいており、とても使いやすさがあります」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。 【市民会館】 ・「今後も利用したい」の項目で100%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応は「非常に良い」と「良い」の合計が98%の評価でした。 ・ご意見を記入する項目では、「とても親切にご対応いただけたので」「非常に使い勝手のよい会館で、これからも使わせていただきたいと思います」「対応がよくキレイだったので」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。
利用者からの要望・苦情と対応・改善	【文化センター】 ・駐車場の料金の割引制度があるとありがたい。予約システムを簡素化してほしい。岐阜市システムを使えるとうい →周辺駐車場については、柳ヶ瀬商店街振興組合連合会のノータイム500円の周辺駐車場を案内しました。予約システムについては貴重なご意見として承りました。 ・洋式トイレやエレベーターなど、建物設備が古い部分があり、高齢の来場者には不便でした。 →洋式トイレは順番に工事予定とお伝えし、正面の動線にエレベーターがほしいとのことでしたので、貴重なご意見として承りました。 【市民会館】 ・駐車場の指定先があると便利。 →これまでも大ホール利用者には西側駐車場が占有できること、来館者には西側駐車場が利用できない場合は、市役所駐車場をはじめ近隣の民間駐車場やコインパーキングのご利用をご案内しています。ここでなければいけないという指定先はありませんので、これまでどおりのご対応・ご説明をしています。 ・東棟2Fの洋式トイレでうまく水が流れず、紙が流れません。 →東棟を利用した主催者よりご意見をいただきました。2Fのトイレは構造上、水圧が低く一度で水が流れない場合があります。洋式トイレの水量を調整しましたが、長押しや何度か流していただく必要がある旨の案内表示をするともに、利用者様にはお伝えしていきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	S	S	S
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	S	S	S
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	S	S	S
		指定事業・自主事業(共催事業)の内容	・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
	区 分 評 価					S
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		職員の管理・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	A	A	A
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策は適切か。	S	S	S
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献しているか	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	S	S	S
	区 分 評 価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 【文化センター】 附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約690万円の減少となりました。催し広場が6月以降特定天井改修工事で利用を停止していることが、施設使用料減少の大きな要因となります。一方、昨年度同様の工事を実施した小劇場の利用が再開しましたが、リピーターのフォローに努め、新規利用者に対して下見や打ち合わせなど丁寧に対応することで、利用の増加につながりました。長良川国際会議場、じゅうろくプラザの休館に伴う企業や学会・大会の問い合わせも増加しており、今後もリピーターとなっていただけるように丁寧に対応していきます。 【市民会館】 附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約134万円の増加となりました。大ホールでは例年利用している団体に加え、長良川国際会議場の休館に伴い、大学の卒業式をはじめ発表会やコンサート公演などが増加しました。各室では一般企業の面接会場としての利用や高島屋が閉館した事により書展の展示会の予約が今後も継続して利用していただけるなど新たな利用者の獲得もありました。文化団体による舞台練習制度の利用も増えてきているため今後も利用者定着へ向けて丁寧に対応していきます。 【利用相談会】 長良川国際会議場、じゅうろくプラザの代替会場としての利用についてPRすることで、多くの方に来場いただくことができました。 文化センターではR9年度の利用を検討されている学会の担当者が安価な会場候補として来場されたため、成約となるように丁寧な対応を実施しました。市民会館ではご予約をいただいた新規利用者を中心に周知を行いPRしました。今年度は料金改定が行われることから、丁寧な説明と対応を心がけました。 2. 利用者・来館者への情報提供 ・令和7年4月以降の使用申し込み分から料金が値上がりするため、過去2年間の利用者へDM等で周知するなど、多くの利用者に使用申込書の提出と署名を促しました。その結果、令和7年度の利用者の多くが令和6年度中に申し込みを完了し、旧料金での利用を実現しました。(文化センター464件、市民会館225件) ・施設ホームページにWEB申込みフォームを作成し、主催事業の市民スタッフ事業大喜利募集、戯曲セミナー発表会参加申込などについてより申し込みしやすい環境を整えました。 ・文化センターでは催し広場が改修工事中のため、空いているロビーを活用して主催事業の告知ポスターや看板、岐阜市イベントや国民文化祭イベントのポスターを掲示してPRを行いました。 ・両館ともにロビー設置のデジタルサイネージを活用し、貸し施設の紹介や主催事業のPR等を行いました。また、文化センターではセントラルパーク金公園や国民文化祭といった岐阜市の施設・事業の動画も流すことで、岐阜市の広報活動に貢献しました。 ・館内レストラン「green yang」の館内デリバリーサービスのチラシやメニューを全館に設置し、利用者の利便性向上に努めました。 ・市民会館では岐阜市のネーミングライツ導入により令和7年4月から「ぎふしんフォーラム(岐阜市民会館)」に変更するため、リピーターへの連絡に加えHPや職員のメール、窓口での案内等で周知を図りました。 ・館内の情報だけでなく、文化会館周辺で行われる催事やマラソンの交通規制について、SNS(X)で情報発信しました。 ・市民会館は、岐阜市のネーミングライツ・パートナーになった岐阜信用金庫との打ち合わせ、複数回にわたる職員・家族等の施設見学会を実施しました。また、施設名の看板・ウェブサイト・印刷物の修正などの打合せを実施し、施設名の周知に向けた準備を行いました。 ・大雪の前日には利用者に利用の有無等を確認し、対応の共有を実施しました。また、安全確保のため職員が早期出勤し、駐車場・搬入口・周辺の歩道の除雪作業を行い地域貢献に努めました。また、職員の除雪作業を業務時間として取り扱う内規を定め、持続可能な体制づくりを整えました。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ 【文化センター】 ・第2会議室、舞台付和室の照明をLED照明へ取り替えることで、省エネに努めました。 ・催し広場及び小劇場で使用している演台、司会台、講演台及び花台が長年の使用で傷や表面の剥がれが目立つため、新しく貼替え修繕を実施しました。 【市民会館】 ・大ホール2階楽屋トイレ・廊下、北棟2階和室入口等の照明をLED照明に取替修繕し省エネに努めました。 ・大ホールトイレの洋便器5ヶ所に洗浄便座を取り付け、利用者の利便性向上を図るために取付修繕を実施しました。 ・東棟2階増設コンセント盤の一部を100Vから200V用コンセントに取替修繕を実施し利用者の利便性向上を図りました。 4. 市民の劇場・市民ふれあい事業 【市民参画創造型事業】 ・「楽市JAZZ楽団」事業では、「第17回ぎふジャズフェスティバル」において多くの来場者から高い満足度を得ました。国民文化祭特別企画として文化祭の応援大使を務める大前光市氏の舞踊とのコラボステージを開催し、国民文化祭テーマソング「君が明日と呼ぶものを」のビッグバンドアレンジの演奏なども行いました。 ・「第46回ぎふアジア映画祭」では国民文化祭特別企画として「少女は卒業しない」の上映後に、原作者で岐阜県出身の小説家朝井リョウ氏と監督の中川駿氏によるゲストトークを開催し、若年層にも多く来場いただきました。また、中国映画の上映とともに岐阜市の友好都市である杭州市の展示ブースを設け、岐阜市国際交流協会の協力を得て解説を行うなど、アジアの文化紹介に努めました。 ・「市民スタッフ事業」では国民文化祭特別企画として「チャレンジ企画がんばれ！若鮎」として地元の小中学生等が出演する「こどもたちの落語会」を実施し、落語に取り組む若年層へ発表の場を提供しました。 ・ぎふ文化センター寄席では、大人対象だけでなく、小さな子どもでも楽しめる「子どもの部」を開催し、映像付き落語や落語教室を実施しました。また、落語の祖「安楽庵策伝」と市内のゆかりの地をスライドで紹介、大喜利を募集し作品展示と表彰、週刊少年ジャンプの人気落語漫画のイラスト展示等を実施するなど盛りだくさんの寄席を開催し落語文化を紹介しました。 【普及啓発・育成型事業】 ・「子ども伝統文化体験教室」では上半期に引き続き「落語」の体験教室を行い、10名の子どもたちが落語の発声や所作を習得し、全員が舞台上で発表することができました。アンケートにも大人・子どもともに満足・大変満足の意見が過半数を占め、次年度も参加したいという声もあり、伝統文化の普及と発展に寄与することができました。 ・「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」では、小学校出前コンサートにおいてドラムスを学ぶ児童との共演やアレンジした校歌の演奏に合わせて、全校児童で合唱しました。そのほか、市主催イベントへの出演、岐阜県総合医療センターでの演奏など音楽文化の普及啓発に努めました。 【鑑賞型事業】 ・「松竹大歌舞伎」では、チケットの販売数増加や歌舞伎文化への理解を深めるため、本番の約1ヶ月前に葛西聖司氏によるプレセミナーを実施し、多くのお客様にご来場いただきました。 ・「『羊と鋼の森』を歩く トーク&コンサート」では、「岐阜市子ども・子育て支援プラン」等の考え方に基づき、市内福祉団体である母子寡婦福祉連合会、日本児童育成会、(一財)あしなが育英会への招待事業を実施し、岐阜市が市政運営の大きな柱として掲げる「こどもファースト」に寄与できました。
--------------------------	--

前回までの意見を踏まえた取組み状況	前回意見 ①コロナ禍前と比較すると、市民会館における有料催事の来場者が戻ってきていないため、利用相談会などを通じて、施設利用の促進をより一層図られたい。 ②今後も職員のデジタル技術の向上と、利用者目線に立った接遇を引き続き行っていただきたい。 取組み状況 ①市民会館の利用相談会には18団体63人が参加していただき、施設利用の増加、稼働率向上に繋がりました。また、市民会館の有料催事の集客に貢献するため、利用者サービスとして実施しているチケット受託販売において、半年間で19団体から27種類のチケット販売を受託し、合計1200枚以上を販売、570万円を超える過去に類を見ない販売額を記録し、多くの大ホール利用者から感謝されました。ただし、同業務は利用者サービスとして実施しているもので、今期はサービスの域を超えるほどの大量販売となり、本来業務に支障が出る状況になってしまったため、今後は受託販売の枚数制限や販売期間制限なども検討していきたいと考えています。 ②職員のデジタル技術の向上と利用者目線に立った接遇については、令和6年度にウェブサイトの全面リニューアルを実施、令和7年度からは従来以上に動画を活用した広告宣伝(テレビCM・ウェブサイトの動画広告・ウェブ広告・SNS・デジタルサイネージ等を活用した動画広告等)に取り組み、令和8年度には施設予約システムとチケット販売システムを新システムに移行するなど、利用しやすく利用者目線に立ったデジタル環境を計画的に整えていきます。
今後の取組み	1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 ・利用相談会では、利用者のニーズに合わせた施設の活用方法を提案することで、新規利用者の獲得及び稼働率の向上に努めます。 ・文化センターでは、これまで他の施設を使用していた高校演劇部関係の利用が増加しており、今後もリピーターとなっていけるように丁寧な対応を心掛けます。 2. 利用者・来館者への情報提供 ・文化会館で運用するホームページやSNSのアカウント、岐阜市のLINEを活用し、市民の劇場・市民ふれあい事業における参加者募集やチケット発売の告知、施設の催し物案内等、市民への情報提供に努めます。リニューアルしたホームページの主催事業等への申込みフォームの新設により、メールやFAXの申込よりもオンライン申し込みの割合が増加しているため、今後改善を重ねながら活用していきます。 ・文化センターでは、施設南北の玄関にフロアガイドを設置するなど、来館者にわかりやすい案内表示の作成に努めます。 ・自主事業の広報についてプレイガイドを導入し、新聞広告・テレビCM・ウェブ広告・SNSなどで情報発信に努めます。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ ・費用対効果を考慮しながら、照明のLED化を進めます。 ・冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰等にも対応できるよう、省エネマニュアルに沿って光熱水料費の節約に努めます。 ・適切な点検とメンテナンスにより、安全を確保しつつ設備の長寿命化と適切な更新時期の提案に努めます。 4. 市民の劇場・市民ふれあい事業 【市民参画創造型事業】 ・市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」のメンバーを募集し、練習に取り組みます。 ・「第47回ぎふアジア映画祭」、「市民スタッフ事業」では、毎月市民ボランティアとともに作品選定・企画会議に取り組みます。 ・市民ボランティアのスキルアップのため、「市民スタッフ育成事業」では全体会議を行い、研修計画を作成します。 ・「第38回・39回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、文化団体による優れた舞台芸術企画を募集するとともに、採択された団体の広報、本番への準備を含めてサポートします。また、高い評価を得て共催事業提案権を付与した団体に対して、ステップアップとして共催事業実現へサポートします。 【普及啓発・育成型事業】 ・市内小中学校を対象に「楽市JAZZ楽団」によるジャズ演奏や、重要無形文化財保持者らによる能楽のアウトリーチを実施することで、子どもたちが音楽や伝統文化に触れ、親しむ機会を提供します。 ・「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、市主催イベントやまちづくりイベント等に出演することで音楽文化の普及に努めます。 ・地域の文化団体や中学校と連携し、「ぎふ演劇ワークショップ」や「岐阜市中学校美術作品展」を実施します。 ・地元劇団で活躍する劇作家を講師に迎え「戯曲セミナー&リーディング発表会」の戯曲セミナーを実施します。 【鑑賞型事業】 ・「松竹大歌舞伎」「0歳からの脳育クラシック」「クラシック音楽謎解きミステリー」など優れた舞台芸術公演に向け準備・発売・実施します。

●所管課の意見

利用者数について、文化センターにおいて、工事による催し広場の休止や大手会社の展示室と会議室の定期利用停止により減少となっている。市民会館においては、長良川国際会議場、じゅうろくプラザの休館に伴う代替会場としてのPRの結果、大ホールだけでなく各室においても大幅な増加となり、コロナ禍前の水準より上回る利用となった。

施設の維持管理について、設備、備品を中心に老朽化は進行しているものの、管理者点検や修繕等を適切に行っている。

新たな取り組みとして、動画を活用した広告宣伝に取り組み、また、主催事業等への申込フォームの新設により利用者目線に立ったデジタル環境を計画的に進めるなど、業務改善にも前向きに取り組んでいる。

今後も、新規利用者の獲得及び稼働率の向上に努め、より多くの利用者が安心して施設を利用できるよう、きめ細やかなサービスを継続することで、市の文化芸術振興の一役を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・市民会館のような演劇ができる大きな会館は、岐阜市内や岐阜市近郊には少ないため、その強みを生かした自主事業をより一層充実させていただきたい。

・緊急時を想定した訓練では、職員の思考力や判断力の向上を考えたものとなっていることから、今後も継続していただきたい。また、緊急時には迅速で適切な対応に期待する。